学校番号	３１９

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」　（山川出版）						
副教材等	アカデミア世界史（浜島書店）　時代と流れで覚える！世界史用語（文英堂） 新世界史研究ノート応用編（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書を事前によく読んで授業に臨んでください。
・語句を暗記して終わりにするのでなく、歴史的事象を、縦の時間軸の中で因果関係を意識し、また横の世界の同時代の空間の中で位置づけるように意識してください。
・プリントで授業をしますが、別にノートを作り、授業中に気づいたこと・考えたこと・あとで図説などを参考に学習を深めたことなどを書き込んでいってください。
・小単元ごとに小テストを実施します。しっかり復習して臨んでください。
・定期考査では、「知識・技能」を問う問題と、「思考・判断・表現」を問う問題を出題します。

2　学習の到達目標

(1)（知識及び技能）諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を調べまとめられるようになる。
(2)（思考力・判断力・表現力等）社会的事象を多面的・多角的に考察し歴史的な見方を身につけられるようになる。
(3)（学びに向かう力、人間性等）グローバル化する国際社会の中で主体的に生き、平和で民主的な社会の形成者たる資質や能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	文明の成立と古代文明の特質	1. 文明の誕生と古代文明	a: オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 b: ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. 南アジアの古代文明と統一王朝	a: 南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。 b: ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。 c: 南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		3. 中国の古代文明	a: 東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 b: 青銅器や獣骨など考古学的資料や『春秋左氏伝』などの資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
	中央ユーラシアと東アジア世界	1. 秦漢帝国	a: ″①新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。 ②漢の支配体制の変遷を理解する。 ③統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。″ b: 兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『史記』などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. 中国の動乱と変容	a: 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえたうえで理解している。 b: 「女史箴図」などの図像資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		3. 東アジア文化圏の形成	a: 隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 b: 壁画などの図像資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	南アジア世界と東南アジア世界の展開	1. 仏教の成立と南アジアの統一国家	a: 南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 b: インド洋航海図（地図）や『エリュトゥラー海案内記』などの資料をもとに、インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。 c: 南アジアで生まれた諸宗教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. インド古典文化とヒンドゥー教の成立	a: インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 b: それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえた上で、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c: インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		3. 東南アジアの形成と展開	a: 東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 b: 東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
	西アジアと地中海周辺の国家形成	1. イラン諸国家の興亡とイラン文明	a: アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。 b: ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イラン文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. ギリシア人の都市国家	a: アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 b: オストラコンなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		3. ローマと地中海世界	a: ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 b: モザイク画などの図像資料やタキトゥスなどの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		4. キリスト教の成立と発展	a：勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 b：当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 c：キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成	1. アラブの大征服とイスラーム政権の成立	a: イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 b: イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問,追究してみたいことなどを見いだして,見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. ヨーロッパ世界の形成	a: 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。 b: 荘園の構造を示す概念図などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいこと等を見出して見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
	イスラム教の伝播と西アジアの動向	1. イスラーム教の諸地域への伝播	a: 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 b: 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 c: イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. 西アジアの動向	a: アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 b: トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
	ヨーロッパ世界の変容と転化	1. 西ヨーロッパの封建社会とその展開	a: 中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解している。 b: 中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		2. 東ヨーロッパ世界の展開	a: ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について理解している。 b: 西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		3. 西ヨーロッパ世界の変容	a：封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。 b：大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。 c：西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出
		4. 西ヨーロッパの中世文化	a：中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。 b：大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c：中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	プリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度